

生育調査ほの出穂期は7月29日頃と近年より4日程度早く、出穂後の気温も平年より高く推移していることから成熟期が早まる見込みです。計画的に収穫作業を行えるよう準備しましょう。

＜今後の管理のポイント＞

- 収穫直前まで適切な水管理を実施するとともに、籾黄化率90%で刈取り、適切な乾燥・調製により高品質な「ゆうだい21」に仕上げましょう。
- 適期刈取りに備え、早めに刈取・乾燥調製の準備を行いましょう。

1 刈取りまでの水管理等

- (1) 刈取りの5～7日前までは間断かん水により、適正な土壤水分を確保し、最後まで稲体の活力維持に努めましょう。
- (2) フェーン等の高温が予想されるときは、刈取り直前でも事前に入水しましょう。
- (3) 収穫前にクサネムを抜き取り、異物混入を防ぎましょう。



クサネムと種子

2 適期刈取りの実施

- (1) ほ場ごとに籾の黄化状況を必ず確認しましょう。
- (2) 今後も高温で経過すると、刈遅れによる胴割米の発生が懸念されます。
籾黄化率90%での適期刈取りに努めましょう。

表 出穂期からみた刈取時期の目安

出穂期	刈取適期 (籾黄化率90%)
7月29日頃	9月12日頃

※東部RCを利用される方は、受入開始日を事前に確認してください。

3 適切な乾燥調製

- (1) 玄米水分14.5～15.0%に仕上げましょう。
(毎時乾減率0.8%以下での乾燥とし、手動水分計でこまめに測定して仕上げましょう)
- (2) 1.8mmのふるい目による選別を徹底しましょう。

刈り遅れると
胴割米だよ



秋の農作業安全運動実施中(8月20日～10月20日)

○コンバイン使用時の注意事項

- ・衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用する
- ・詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切る
- ・後進時には、補助者による誘導や確認を行う

○熱中症や用水転落事故に注意しましょう。

- ・こまめな水分、塩分補給や適切な休憩など、熱中症対策を徹底しよう！

